

学習内容報告書 フォーマット

学校名	唐津市立東唐津小学校
授業者	前田秀子、宮原万実

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

東の浜・唐津湾と虹ノ松原のよさを守り、生かそう

1-2. 学年

3年・4年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

最初の課題の設定においては、これまでの学びや地域での生活経験をふり振り返りながら、ふるさと東唐津のよさ・おすすめを出し合う中で、「虹ノ松原や東の浜・唐津湾についてもっと詳しく調べてみたい」という思いを高めた。その思いをもって、情報の収集や整理・分析につなげていった。進め方としては、まず、学習素材に触れ、楽しむ活動をすることで、もっと知りたい、もっと調べてみたいという意欲を高めた後、自力での調べ学習を行った。その後、解決できなかった課題やさらに詳しく調べてみたい等の児童の思いを専門家との学習で深めていった。専門家との連携を密にすることで、児童のさらなる疑問にも対応できるようにした。

まとめ・表現の段階では、学習を進める中で高まっていった虹ノ松原や東の浜・唐津湾を守りたいという児童の思いを、実際の清掃活動につなげたり、松葉かきで集めた松ぼっくり等を使った制作物をお世話になった方々に贈ったりして、みんなで東唐津の宝を守っていこうというメッセージを届けた。また、小單元ごとに分かったことや気づいたことを新聞にまとめたり、スライドを作ってプレゼンしたりする時間も設定した。その際は、発信する相手は誰なのか、どんな目的で行うのかを明確にしたうえで、発信方法や内容等を話し合い、効果的な選択ができるように支援を行った。

単元のゴールとして今年度は、有明海沿岸の学校である大詫間小の4年生とのリモート交流会を実施し、虹の松原や東の浜・唐津湾のよさや抱えている問題点についての発表を行った。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

《単元設定の理由》

本単元は、探究課題「東の浜・唐津湾と虹ノ松原よさを実感し、守り・生かすことの意義」に基づいて構想したものである。

本校は、北に東の浜、東に日本3大松原の一つ虹の松原が広がる風光明媚な場所にあり、これまでも豊かな自然を題材とした活動（全校での東の浜の清掃活動、海うみ大好き集会、地引網、浜ラン、松葉かき等）に、地域の方々の協力を得て取り組んできた。海や虹ノ松原と深く関わってきた方々との連携ができる恵ま

れた環境下で授業ができる学校である。その恵まれた地域素材である「東の浜・唐津湾」や「虹の松原」を積極的に活用した総合的な学習の時間の学習に、主体的・協働的に取り組むことができれば、子どもたちは、自分自身が生活する身近な地域のよさや人とのつながりを一層感じるであろう。そして、これからも地域を大切にしていきたい、そのために今自分ができることをやっという保全活動への意欲も高まるであろう。これらの学習を通して高めた力は、これからも社会と主体的に関わり、創造していこうとする意識の基盤となると考える。

《単元のねらい》

自分達が住む東唐津の環境（海・虹ノ松原）のすばらしさを実感し、その環境を守るとともに、その環境保全に関わる人々の工夫や努力を知ることを通して、ふるさと東唐津を愛し、ふるさとを大切にしようとする態度を育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

(1) 身近な地域素材、虹ノ松原や東の浜・唐津湾について、専門家の力を借りて知識を広げ、深めたい課題を設定する力。	【知識・技能】
(2) 体験したり調べたりして得た情報から、発信するのに必要な事柄を選び出したり、他者に分かりやすく伝えるための工夫をしたりする力。	【思考力・判断力・表現力】
(3) 身近な東の浜・唐津湾や虹ノ松原に関心を持ち、進んで学習に取り組み、分かったことを発信しようとする力。	【学びに向かう力】

1-7. 単元の展開（全56時間）

時数	学習活動・主な内容	*教師の指導 / 主な評価 ☆外部連携 / 使用教材等
3	<ul style="list-style-type: none"> ○東唐津のいいところ・おすすめを紹介しよう。 ○自分達が今後も大事にしていきたい環境が何かを考えよう。 ○みんなで一緒に学習することを決めよう。 <ul style="list-style-type: none"> ◇「虹ノ松原となかよし」 ◇「東の浜・唐津湾となかよし」 	<ul style="list-style-type: none"> *自分たちのこれまでの学習や体験から東唐津のよさ・おすすめを紹介し合い、本単元への興味・関心を高める。 *昨年度までの画像などを提示する。 *最も身近な素材である「虹の松原」と「東の浜・唐津湾」の2つに絞って学習を進めることを共有させる。
18	<ul style="list-style-type: none"> ◇「虹の松原となかよし」① ○虹ノ松原を歩いてみよう。 ○お気に入りの松を見つけ、紹介しよう。 ○虹ノ松原の「よさ・ふしぎ」を調べよう。 (インターネットや家の人への聞き取り等) ○KANNEさんから話を聞いて、虹ノ松原の「よさ・ふしぎ」に詳しくなろう。質問しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> *まず、学習素材に触れ、楽しむ活動をすることで、もっと知りたい、もっと調べてみたいという意欲を高める。 *虹ノ松原のよさや不思議などについてまず自分で調べさせる。 *自分たちだけの力で調べるのは難しいことに気づかせ、専門家の力も借りることを提案する。 *聞き取りたいことを明らかにし、目的意識をもって話を聞くようにさせる。 ☆虹の松原の専門家…NPO法人 KANNE 藤田さん



<p>○生き物調査に出かけよう。(植物) 虹ノ松原内・東の浜</p>  <p>○松葉かきをしよう。(守る活動) ○調べたことを新聞にまとめよう。 (グループごとに)</p>	<p>* 専門家と共に調査活動をしたり守る活動をしたりすることで、知識を広げ虹の松原や東の浜への愛着を高める。 * 虹ノ松原の環境を守るために努力している人々の思いに気付かせる。 * 調べたことや体験したことで、最も伝えたいことは何かを明確にさせて、グループ編成を行わせる。 * 完成した新聞は、学期末懇談会時に保護者にみってもらうと共に KANNE さんや南高生にもみってもらうことで、達成感を味わわせる。</p>
<p>◇「東の浜・唐津湾となかよし」 ○体験したい内容を話し合おう。 ○サンドアートを楽しもう。 ○ヨット・カヤック体験をしよう。</p>  <p>○海に「ありがとう」を伝えよう。(清掃活動)</p>  <p>○専門家から話を聞こう。 ・お魚教室 ・唐津魚市場見学</p>   <p>○東の浜・唐津湾のよさについて話し合い、まとめよう。</p>	<p>* 縦割り班で協力して作品を作るよう支援する。 ☆ヨット・カヤック体験講師…佐賀県ヨットハーバー 中地さん、佐々木さん</p>   <p>* 体験の振り返りを交流し、清掃活動へつなげる。 * 体験活動後にさらに調べたいことを考えさせる。 ☆魚市場見学講師…唐津魚市場の職員さん * 東の浜・唐津湾の環境を守るために努力している人々の思いに気づかせる。 * よさと共に問題点についても話し合わせる。</p>
<p>◇「虹の松原となかよし」②～よさを生かす～ ○何を作るか話し合おう。 ○お世話になった方について話し合おう。 ○必要な物を集めよう。(保全活動と共に) ○南高生に教えてもらいながら作ろう。 ○自分達でも作ろう。 ○役割分担をし、メッセージと共に渡そう。</p>	<p>☆松ぼっくりツリー作りの講師 …県立唐津南校 虹ノ松原研究班のみなさん</p>   <p>* 南高生から学んだ松ぼっくりツリーを自分たちでもたくさん作り、今年お世話になった方々に渡すことで、これからもみんなで虹の松原を守っていこうという意欲を高める。</p>

15

10

◇学んできたことを伝えよう

- 誰に伝えたいのかを話し合おう。
- 伝えたい内容・方法について話し合おう。
- 役割分担し、スライド等を作ろう。
 - ・東の浜・唐津湾チーム
 - ・虹ノ松原チーム



○交流会で発表しよう。



○交流会の振り返りをしよう。

☆交流相手…佐賀市立大詫間小学校 4年生

- *相手は唐津のことをあまり知らない人たちだということに留意して、伝えたい内容や方法を考えるように促す。
- *内容等の意見を言う際には、みんなに分かってもらうために、「なぜ、それを伝えたいのか」理由や根拠を入れて話すよう促す。
- *話す速さや間等にも気をつけながら話すことができるように、別チームの発表をお互いに聞き合っってアドバイスする時間を設定する。

*相手校の伝えたいことをしっかり聞き、質問したり感想を述べあったりできるように支援する。

*満足感や達成感を味わうことができるような感想交流の場になるように支援する。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 5 6 時間中の 4 7 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

大詫間小学校 4 年生とのリモート交流会を成功させるために、根拠や理由を挙げながら、方法や内容等について話し合い、本番までの見通しをもつことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1. これまでの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンドアート ・ヨット・カヤック体験 ・ごみ拾い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">(めあて) リモート交流会を成功させるための学習計画を立てよう。</p> </div> <p>2. 自分の考えを友達と伝え合う。</p> <p>①内容について ひ → み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐津の海の美しさ ・魚 ・ヨット・カヤック体験 ・海うみ集会 ・地引網 ・サンドアート ・ごみ拾い ・虹の松原のこと <p>②方法について み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を作って ・パワーポイントで ・紙しばいで <p>③当日までの計画について み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担 ・写真選び ・スライド作り ・原稿作り ・アドバイス ・リハーサル <p>3. 本時の振り返りをする。</p> <p>ひ → み</p>	<p>○これまでの活動を想起させるために、活動時の写真を提示する。</p> <p>○相手校について地図上で確認させる。</p> <p>○本時の流れを提示し、見通しを持たせる。</p> <p>○みんなに分かってもらうために、理由や根拠を入れて話すよう促す。</p> <p>○「なぜ、それを伝えたいのか」その意義について自分なりの考えを持たせるために、「ひとりでタイム」の時間を設定する。</p> <p>○①については、持ち時間等の詳細を受けての決定となることを伝える。</p> <p>○リモート交流に適した方法という視点で選択させる。</p> <p>○必要となる作業の見通しを持つことができるように、計画表を作成し掲示する。</p> <p>○振り返りシートの文章記入は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたい内容と理由 ・見つけた友達の「なるほど」 <p>の視点で書くよう指示する。</p>

4. 次時の学習を確認する。

◆ウー①（振り返りシート）

<具体的な児童の姿>

- ・大詫間小とのリモート交流ということ
を踏まえ、自分なりの理由や根拠をもって
視点に基づき書いている。
- C 児童への手立て→板書内容を見て、話し
合いを想起するよう助言する。

3. 今回の活動の自己評価

- ・昨年までの学習を振り返り、今年度の総合的な学習の時間に主として取り組むことを児童と一緒に考えたことで、児童の活動意欲が継続し、小単元のまとめ時などでも進んで工夫する姿を見ることができた。
- ・体験したことによる気づきや疑問を出し合うことから、次の学習課題を作ったり、情報収集の方法を考えたりした。このことは、3・4年生の発達段階と児童の実態からみて、学びを深めていくのに有効だった。
- ・総合的な学習の時間だけでなく、国語科や道徳科、特別活動等の時間と関連させながら取り組んだことで、それぞれの教科等で学んだ力（知識・技能）を生かす場（表現する場）にすることができた。それが主体的な学び・協働的な学びにしていくうえで大いにプラスになった。
- ・相手意識・目的意識を児童がしっかりと持って活動に入ると、より主体的で協働的な学びとなることを実感することができた。
- ・情報収集の場面や表現活動、発信活動の際に協働的な学びとなっていると感じることが多かった。特に、大詫間小学校とのリモート交流会の準備では、相手に自分たちの地域環境のよさがしっかりと伝わるようにと、情報を整理したり表現方法を工夫したりと、自分たちで協力しながらプレゼン資料を作り上げることができた。児童相互の学びが深まったと感じることができた。
- ・専門家からの話を聞いて疑問に思ったことを質問したり、ゲストティーチャーと共に活動したりしたことで、虹の松原や東の浜・唐津湾といった地域への愛着がより強まり、保全活動への意欲もより高まった。
- ・自分たちにできることをやるという意識が高まり、行動に表すことができた。

4. 今後の課題

- ・より主体的な学習にするためには、4月の初めのオリエンテーション時にしっかり時間をとって、探求課題づくりについての話し合いをする必要がある。
- ・発信内容や方法等を決める際、相手が誰なのか、その目的は何なのかということを大事にした話し合いになっているのかで評価し、支援方法を考える必要がある。
- ・「児童が自分たちで課題を見つけ、決定する」ことを適切に支援するための教師側の学びが必要である。
- ・3・4年生が一緒に行う学習が多いので、重複すべきものと新しく考えるべきものについて吟味する必要がある。
- ・地域への発信力が弱かった。学んだことを地域へ発信することは、ふるさと東唐津を愛し、ふるさとを大切にしようとする態度を育てるうえで重要である。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし